

八幡町の野菜朝市

平成20年11月16日（日）から毎日曜日開催です。買い物難民を救うために地域の皆さんが立ち上がったのです。安くて新鮮な野菜を求めて毎回100人以上のお客様が来場されます。



電線地中化は西本町から

質問
電線の地中化は本町から開始される予定ですが、本町は中心部で、電線が太く、地中化の工事費が非常に高額です。また、地中化の工事には、地中の電線を引き抜く必要があり、大変な作業です。また、地中化の工事には、地中の電線を引き抜く必要があり、大変な作業です。

答弁
本町は、中心部で、電線が太く、地中化の工事費が非常に高額です。また、地中化の工事には、地中の電線を引き抜く必要があり、大変な作業です。また、地中化の工事には、地中の電線を引き抜く必要があり、大変な作業です。

市役所の日曜日閉庁について

太田市役所の土日開庁は全国的に有名です。平成15年から市役所の土日開庁は開始され、6年が経過し、市民に定着してきました。土日来庁者の状況は土曜日の来庁者が6割、日曜日の来庁者が4割となっています。今年度の状況は、収納部門で、コンビニ収納が開始されてから、窓口での取り扱い件数も例年の3分の2程度となっています。さらに通年開所している市内3ヶ所のサービスセンターについては取扱業務も充実してきたことから、平成22年度から、市役所の日曜日を閉庁し、人件費等の経費削減を図ります。日曜日開庁の場合、約2,350万円の削減が見込まれます。

本町通り東武桐生線交差部の北側歩道からスタートし、八瀬川まで。八瀬川からは南側歩道を西へ戻る。八瀬川から東は第2期工事の予定です。



歩道部から電柱をなくし、安全で快適な歩道環境を背を整備する事業。また、良好な街づくりや高度情報社会の構築を図る事業でもある。

十二月補正予算案に対し

本会議場で賛成討論する

市税、特に法人市民税における減収が顕在化している中で、財政状況は予断を許さない状況にあります。こうした状況下の中、事業の緊急性や優先順位などを考慮しながら必要な施策を実施しているようにうかがわれます。人事院勧告による人件費の減額や保育児童数の増加に伴う委託料、インフラ整備対策費



社医療費などが追加計上されております。歳入面では市税の減額を財政調整基金の繰り入れや国県補助金を活用するなど評価しております。引き続き、健全財政運営に努めて頂く事をお願いし、三億六、四九八万四千円を追加し、一般会計を七七

お年寄りにも優しい潤いのある街を目指して

本市の高齢人口比率（六五歳以上の比率）は一八、九五です。地区別にみると、尾島地区二五、九三がトップ、次に太田地区二五、七、七、良田地区二二、一三となっており、特別養護老人ホームの待機者は六〇〇人を超えています。一方、一人暮らしの高齢者が四、〇一〇名に達しています。市内一六地区で最も人口比で最も多く四六五名となっており、訪問介護員さんへの支援を始める必要があります。現状より、介護支援を促進し、お年寄りにも優しい潤いのある街を目指してまいります。

平成20年工業統計調査結果について（速報値）

製造品出荷額	2,151,429百万円
全国19位	豊田市、市原市、倉敷市
関東地方1都6県	4位
	市原市、川崎市、横浜市

平成20年工業統計調査（H20,12実施）

四億九、九三二万七千円にする事に賛成致します。

頑張ります。